

課題整理総括表

利用者名: 殿

作成日: 平成 28年 6月 8日

自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等)		① うつ病による意欲低下	② 上腕骨骨折による動作のし難さ	③ 食事や内服の管理ができない	
		④ 長男の介護によるストレス	⑤ 本人・長男共に糖尿病の病識が薄い	⑥	
状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立 (見守り) 一部介助 全介助		(改善) 維持 悪化	家の中は、伝え歩きで移動できる
	屋外移動	自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	すり足歩行為屋外は手を引くなどの支援必要
食事	食事内容	支障なし (支障あり)		(改善) 維持 悪化	惣菜などを購入する事が多く、カロリーが高いものを食べてしまう
	食事摂取	自立 (見守り) 一部介助 全介助		改善 (維持) 悪化	ムセなどはないが、制限なく食べてしまったり、夜中に食べてしまったりすることがある。(月に3~4回)
	調理	自立 見守り (一部介助) 全介助		(改善) 維持 悪化	うつ病による意欲低下があり、食事の支度は週1~2回程度のみ
排泄	排尿・排便	支障なし (支障あり)		改善 (維持) 悪化	排尿に関しては夜間などに失禁がある 排便は内服にて2~3日に一度
	排泄動作	自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	スポンの上げ下げに支障があり、うまく上げられない事がある
口腔	口腔衛生	(支障なし) 支障あり		改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立 (見守り) 一部介助 全介助		改善 (維持) 悪化	義歯・促しをすれば、自分で洗浄できる
服薬		自立 見守り (一部介助) 全介助		(改善) 維持 悪化	飲み忘れがある3日に一度程度
入浴		自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	左上腕骨骨折の為、背中や頭髮を洗う時は介助必要
更衣		自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	スポンの上げ下げに支援必要
掃除		自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	掃除機や床を拭くなどは出来ない
洗濯		自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	洗濯機に入れる事は出来るが、干す時にふらつきがある
整理・物品の管理		自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	洗濯物や身の回りの整理はもととできない
金銭管理		自立 見守り 一部介助 (全介助)		改善 (維持) 悪化	長男により管理されている
買物		自立 見守り (一部介助) 全介助		改善 (維持) 悪化	長男と買い物に行く(週1回程度)
コミュニケーション能力		支障なし (支障あり)		(改善) 維持 悪化	東北の訛りを気にしたり、もともとの内気な性格から新しい関係は苦手。
認知		支障なし (支障あり)		改善 (維持) 悪化	年齢相応の物忘れあり。
社会との関わり		支障なし (支障あり)		(改善) 維持 悪化	地域の人との交流はあまりない。仕事をしていた頃の友人が時々訪ねてくれる
褥瘡・皮膚の問題		(支障なし) 支障あり		改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし (支障あり)		改善 (維持) 悪化	テーブルや仏壇に挙げてあるお菓子などを際限なく食べてしまうことあり
介護力(家族関係含む)		支障なし (支障あり)		(改善) 維持 悪化	脳梗塞後遺症の長男と2人暮らし。買い物や受診はできるが、それ以外の介護については不安がある。市街の長女さんの支援は月1回程度
居住環境		(支障なし) 支障あり		改善 維持 悪化	
				改善 維持 悪化	

利用者及び家族の生活に対する意向	本人 まだ完全に手が動かせないの着替えやトイレが心配ですが、息子に迷惑をかけずに過ごしたい 長男 自宅で過ごさせてやりたいが、受診や買い物など以外は心配です。
------------------	--

見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (二ス)【案】	※6
糖尿病やうつ病の管理が出来ていないため、まずは医療と連携し、内服や食事の管理をきちんと出来ることで生活の基礎をつくる事ができる。	糖尿病などの病気が悪くならないように過ごしたい。	
左上腕骨折やパーキンソン症候群の為動作のし難さがあり、転倒や排泄の失敗のリスクがある為、動作の評価やリハビリをすることで安全に生活を送ることが出来ると考えられる。	転倒しないで、食事を作ったり洗濯などをして行きたい。	
新しい関係造りは苦手だがうつ病による閉じこもり防止や息子さんのストレス解消のためにも家族以外の人との交流や外出の機会を作ることが必要である。	息子に心配かけないで生活したい。	
さらに長男との自立自立した生活を送るためには、ご本人の残存能力を評価し、できる家事を継続する。又長男を中心とした家族の役割を明確にすることで、自宅での生活が出来ると考えられる。	このページは記入例です。提出書類に添付しないでください。	
このまま長男への支援がないと虐待の恐れも考えらる。		
この後の生活を考えると地域包括とも連携し、長男への就労支援も検討して行く必要がある。		

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。